

# ARTS for HOPE 現地視察報告書

2014年11月11日-12日

## 岩手県陸前高田市



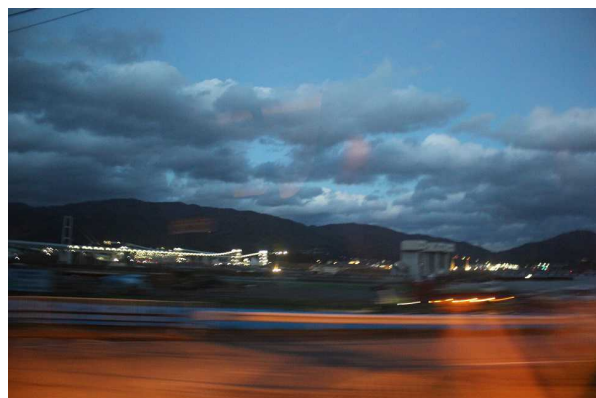
市内初の災害公営住宅。更地となった一角に建ち、すでに入居が始まっている。陸前高田市は未だ全ての仮設住宅が残る



災害公営住宅のすぐそば。1階部分が突き抜けたままのお寺



朝7時から轟音とともに什器が稼動。かさ上げ工事が進む



住宅造成のための大量の土砂を運ぶ巨大ベルトコンベアー。夜にはライトアップされ、復興のシンボルになっているという。トラックで土砂を運ぼうとすると10年かかることから、全長3キロにわたって整備。これにより14ヶ月で土砂の運搬が終わるという

# 岩手県大船渡市



沿岸部には今も津波の爪痕を残した建物がたたずむ



護岸工事が異様な光景をつくり出していた（色の濃い部分がもとの防波堤の高さ。倍以上の高さに積み上げられ、風景を遮断していた）



叫びのようなプラカードが至るところに設置されていた

